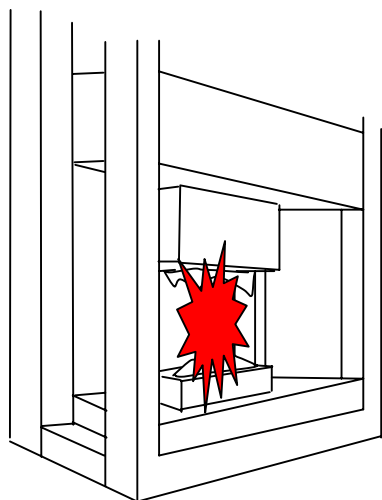


# Komori Safety Report No1

～災害事例&安全対策のご提案 平成14年8月12日

ksd114001



金属製品製造業 太陽熱温水器

被災 死亡災害

15000kNプレス 絞り加工

製品の大きさ 1000mm×2000mm×0.3t  
(ステンレス鋼)

## 状況

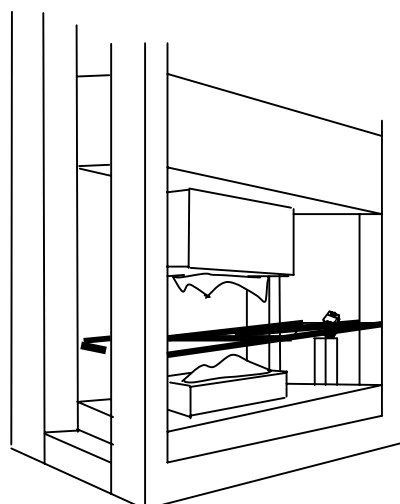
前側に二人、後側に二人四人作業である。  
絞り加工を終えてスライドが上昇したので、前側の二人はそれぞれ材料を両手で持ち、金型にセットした。  
続いて前側の一人が両手押しボタンを押したところ、前側にいたもう一人の人が金型に挟まれ被災した。  
当時、光線式安全器は有効であった。  
プレスの起動は両手押しボタンのポータブルスタンドがプレス前側に一台設置されていた。

## 原因

- 1 光線式安全装置を使用していたが被災者の身体が光線の内側に入り込んでしまった。
- 2 両手押しボタンスイッチの数が不足していた。
- 3 両手押しボタンスイッチを押した作業者がプレス機械に背を向けていたために、被災者が金型内に身体を入れているのに気づかなかった。
- 4 プレス作業に関する安全教育が不徹底であった。

## 対策

- 1 共同作業の場合は原則全員が押しボタンを押すことによってスライドが作動するようにする。
- 2 ボルスターと光線式安全装置の光軸の間に身体が入る恐れがあるときは補助光軸を備える等の措置を講じる。
- 3 両手押しボタンを押すときは作業者の位置を確認する。作業標準の徹底
- 4 プレス作業に関する安全教育の徹底



### 小森の安全の取り組み

EU規格、[ISO12100](#)に順じ、また[包括的安全器基準](#)に基づき小森は更に次のように安全対策を考えます。

人に頼る安全から、機械に安全措置を取り組む  
[安全カテゴリー3](#)の当社の[安全装置PLS](#)を左図のように設置し、金型内の人のまたは異常を絶えず監視する。

当社独自の安全管理手法としての[リスクマネジメントシステム](#)の構築をサポートする

